

平成19年度の科学技術に関する 予算等の資源配分の方針について

- 平成19年度の科学技術に関する
予算等の資源配分の方針について……………P1
※平成18年6月14日 第56回総合科学技術会議（本会議）配付資料

- イノベーション創出総合戦略について……………P5
※平成18年6月8日 総合科学技術会議 第1回基本政策推進専門調査会
配付資料

- 平成19年度の科学技術に関する予算等の資源配分の方針 ……P13
(平成18年6月14日 総合科学技術会議)

平成 19 年度の科学技術に関する 予算等の資源配分の方針について — 科学技術による成長戦略 —

平成 18 年 6 月 14 日

総合科学技術会議

基本認識

- 科学技術は「明日への投資」であり、着実に
拡充していく必要がある
- 人口減少下での国際競争のもとで、日本が
発展を続けるために、科学技術振興が今ほど
求められる時はない

1 基本的考え方

○ 第3期基本計画の本格実行

- ✓ 19年度予算は、第3期基本計画の本格実行実質的初年度

○ 「選択と集中」の徹底

- ✓ 優先すべき重点課題を「選択と集中」を徹底し厳選

○ 「イノベーション創出総合戦略」の実行

- ✓ 「イノベーション創出総合戦略」の具体化は、19年度の最重要課題

○ 社会・国民に支持される科学技術の実現

- ✓ 第2期基本計画中の成果のとりまとめ、安心・安全への取組強化

2

2 科学技術関係予算の充実・改革に向けた取組の強化①

○ 「選択と集中」の徹底等による科学技術関係予算の改革

- ✓ スクラップ・アンド・ビルドの徹底、3年以上の継続施策のレビューにより、必要に応じて整理・合理化・削減
- ✓ 重点投資を行う「戦略重点科学技術(国家基幹技術を含む)」を府省横断的に推進するため、個々の施策の位置付けを明確化(全体俯瞰図の作成)
- ✓ 関係府省における科学技術関係予算の比重の増大

○ 研究費配分における無駄の徹底排除の強化

- ✓ 電子政府構築計画に基づく府省共通研究開発管理システムの整備を本年度より進め、19年度中に運用開始

3